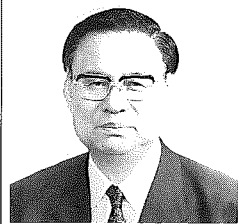


起こせよ「心の改革」



RIローターアクト委員会
委員 渡辺 好政(児島)

1. 世界ローターアクト週間：

1968年3月13日、ノースシャーロットRCが提唱し、世界で最初にノースシャーロット[※] RACが結成されました。日本では、同じ年の6月、川越RCが国際商科大学RAC(1968年6月1日発会、現・川越RAC)を提唱したのが最初となっています。以来、RACはめざましい発展を続け、1996年のRAC数、ローターアクターの数は、世界と日本では、それぞれ、5,759クラブ：132,456人(RI報告)、450クラブ：6,445人(1996年7月現在)となっています。

1993年、RI理事会は、ローターアクターたちが、世界的に画期的な成果を上げてきた25年を記念して、3月13日を含む1週間を「世界ローターアクト週間」と定め、各RCに、地元のRACとの共同プロジェクトや親睦活動に参加するよう呼びかけています。

2. ジアイRI会長の「新世代」への思い：

ジアイRI会長は、「新世代」をその活動方針の中心におかれています。プログラムの一つとして、「次の世代を準備することによって未来を築こう」との呼びかけをされ、世界の人口の50%を占める30歳以下の人々に焦点を合わせています。具体的には、新世代のためのロータリー会議の計画、若い人と友達になること、地域社会規模の青少年指導力養成セミナーを組織すること、地域社会において少なくとも1つの[※] IACとRACを支援すること、そのIACとRACを激励することなど

であります。

昨年の12月1日、神戸市で行われた「新世代のための会長訪問」は、非常に画期的なことであり、また、素晴らしい成果を上げ、高く評価されています。RI会長の公式訪問は、インターアクトが前面にでておりましたが、その内容においては、インターアクトにとどまらず、まさに、新世代を目標にされたものでした。(この詳細は、1997年2月号の『友』ヨコ組み16ページに記載されています。)

3. アンケートによる日本のローターアクトクラブの現状分析：

筆者は、RIローターアクト委員として、まず、日本のRACの現状を把握したいと考えました。そこで、地区ガバナーと地区ローターアクト委員長に、15項目について、アンケートによるご意見をお願いいたしました。関係の皆様には、ご多忙中、たいへんご協力をいただきました。誌上をお借りして、各位のご配慮に心からお礼を申し上げます。以下、アンケートの結果を簡単にご報告申し上げます。それぞれの数字には、いろいろな意味が含まれておりますので、それぞれのお立場で真意をおくみ取りいただきますように。(数字は、回答率、1995年、1996年の順です。)

1. RAC数：85%、402、396
2. そのうち、大学中心のRAC：
85%、24、24、
3. 提唱RC数：85%、449、444、
4. ローターアクターの人数：

79%、5,715、5,540

5. その男女比：79%

男51.2%、女48.8%

男51.4%、女48.6%

6. ローターアクト活動を通じて結婚されたローターアクターの数：

76%、152人(16地区)、63人(14地区)

7. 地区ロータリアンのなかで、ローターアクターであった方は何人：

76%、105、111

8. IAC数：85%、346、350、

9. インターアクターの人数：

85%、10,852、11,999

10. 1996-97年度、新しいRAC創設予定数：11地区、16RAC

11. 新しい提唱RCの数：8地区、14RC

12. 「新世代のためのロータリー会議」開催予定地区：「ある」と回答、21地区

13. 「ローターアクト研修セミナー」開催予定地区：「ある」と回答、15地区

(1997年1月13日現在)

4. 起こせよ「心の改革」：

上記のアンケートには、各地区のRAC担当の各位から、多くの貴重なご意見が付記されており、また、資料も送られてまいりました。筆者は、これらのご意見や資料をふまえて、筆者の属している第2690地区(鳥取、島根、岡山)の現在のローターアクトの地区代表、地区幹事、副幹事(女性)の方々に、RACからRCへの提言を拝聴する機会をもちました。

3人とも、異口同音に、国際的な会合に出席して、ローターアクトのすばらしさを再認識したことが、現在の奉仕活動のエネルギーとなっていると情熱をこめて語られる。それは、地区代表と地区幹事は、韓国への訪問、地区副幹事は、昨年8月、イスタンブールでの第6回インター、ローターでの経験などがあります。

RACは、毎年、地域社会のための奉仕プ

プロジェクトを1つと国際理解を推進するプロジェクトを1つ実施しなければならないことになっています。

筆者は、その話し合いの中で、ローターアクターの皆さんは、RCとの密接な連携のもとに、それぞれの地域社会における奉仕活動を実践し、自己革新を求めながら、国際的な連携の中にあるRACを実感することによって、新しい世代の自覚が生まれてくるのだと実感しました。

ロータリアンも、ローターアクターたちを、真のロータリーの共同奉仕者としての位置づけのもとに、地域社会への奉仕、また、国際理解を推進してゆく必要があると思っております。それは、ローターアクターたちの話をよく聞き、ともに行動の汗と、感激の涙を流しながら、とことんRACの面倒をみることから始まります。

RACを通じて結婚されたローターアクターが多いことも、RACは、素晴らしい出会いを提供していることと思います。

日本中で、RACを経験したロータリアンが100人に及ぶこと、一地区では、19人のところもあります。ローターアクターから、ロータリアンになる比率の高い諸外国、とくに、南米に比べては少ない数字ですが、わが国にとっては、貴重なデータであります。まさに、「心の改革」が要請されることでもあります。ちなみに、「心の改革」とは、第2690地区ローターアクトの本年度の標語であります。

私たちは、今こそ、愛すべき共同奉仕者の思いを真摯に受け止め、まさに、「心の改革」を行って、もっともっと熱心にそれぞれの立場で、地域で、また、国際的にも、奉仕活動を行う時期ではないでしょうか。それが、ジアイRI会長の「築け未来を一行動力と先見の眼で」を具現化することにつながり、ひいては、私たちロータリーの生きる道ではないかと思っております。

第2690地区(鳥取、島根、岡山) PG